

## 監督・選手注意事項

### 1. 規則について

本大会は、2019 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

### 2. 競技場について

主競技場の競走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投のピンの長さは12 mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクピンの数は11 本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143 条を厳守されたい。

### 3. 練習について

練習は、補助競技場を使用する。(等々力の補助競技場 12日は使用不可。ただし雨天走路は両日とも使用可。)また競技進行の状況に応じてバックストレートを開放することがある。**※公園内など競技場外での練習は全面禁止とする。**

跳躍競技・投てき競技の本競技場での練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。(棒高跳を除くフィールド競技は招集完了時刻以前には、フィールド内に入ることはできない。混成競技のフィールド種目については、競技開始の30分前から練習できる。)

本競技場では 1, 2, 3レーンは周回練習に5, 6, 7, 8レーンはスプリント練習等で使用する予定。

### 4. 招集について

① 等々力競技場・三ツ沢競技場ともに100mスタート地点後方に設ける。※棒高跳は現地で行う。

② 招集開始時刻及び招集完了時刻は、競技開始時刻を基準とし、つぎのとおりとする。

	種 目	ラウンド	組	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	100m、200m、400m、800m 100mH、110mH、400mH	予選	1～4	35分前	20分前
			5～7(8)	30分前	15分前
		準決勝、決勝		30分前	15分前
	4×100mR、4×400mR	予選、決勝		競技開始時刻80分前までにオーダー用紙を提出する。それをもって招集とする。	
	1500m、3000mSC	予選	1～2	40分前	25分前
3～4			30分前	15分前	
決勝			40分前	25分前	
3000m、5000m、5000mW	予選、決勝		50分前	20分前	
フィールド競技	走高跳、走幅跳、三段跳 砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投			75分前	60分前
	棒高跳			競技開始 120 分前までに現地で招集完了	
	女棒高跳			競技開始 60 分前までに現地で招集完了	

◎ 混成競技の招集開始時刻及び招集完了時刻は、1日目及び2日目の最初の競技については、つぎの時間に招集所で行う。

ただし、2種目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技10分前、フィールド競技10分前に競技場所で行う。

混成選手控所については、当日混成競技係より指示する。トラック競技の腰ナンバー標識は混成競技係より受け取る。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
混成1種目目(トラック)	35分前	20分前
混成1種目目(フィールド)	45分前	30分前

③ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものと処理する。

④ 招集所では、招集時間内にチェックを受け、ナンバーカードとユニフォームの点検も受ける。その後、速やかに競技開始場所に移動し、競技役員の指示に従う。フィールド競技においては、「3. 練習について」を参照すること。

⑤ 招集は本人が招集所において招集を受ける。ただし、他種目を兼ねて出場する者は、招集所競技係にその旨を申し出て了解を得ること。(一つの種目に出場していて、他の出場種目と時刻が重なる場合は、当該役員に申し出て了解を得る。)これを怠った者は欠場とみなす。

### 5. ナンバーカードについて

① ナンバーカードは登録番号とし、顧問総会で配布した数字サンプルを使用して各自で作成して(男女とも黒字)2枚を胸と背につけること。ただし、跳躍競技参加の競技者は胸部または背部だけでもよい。

② トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、ランニングパンツ右側後方につける。

③ 3000m、5000m、3000mSC、及び5000mWについては、胸・背・腰部に特別ナンバーカードを使用する。

(招集時間内に選手招集所で配布するので、招集時に受け取る。その際に、正規ナンバーカードを持参すること。)

④ 混成競技の最終種目においては、胸に現在の順位、腰にレーン番号、背中にナンバーカードを使用する。

⑤ 4×400mRの2～4走者は、招集所で配布する腰ナンバー標識を左右の腰につける。

6. トラック競技の組・レーン順、フィールド競技の試技順について
  - ① トラック競技の組・レーン順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。
  - ② トラック競技の準決勝・決勝の組・レーン順は本部で抽選し、記録掲示場所に掲示する。
7. リレー競技について
  - ① オーダー用紙は招集所にて配布する。出場者4名で決められた時間に提出すること。
  - ② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、4名統一したものを着用すること。
8. 写真判定・電気計時について
 

トラック競技においては写真判定を採用する。
9. トラック競技の準決勝、決勝進出について
 

800mまでの種目及びリレー競技において、同タイム者(チーム)については判定写真を細部(電気計時1/1000秒)まで読み取り着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者又は代理人によって抽選する。

10. 競技方法について

- ① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は最後の一人になり優勝者が決定するまで、以下の通りである。(荒天の場合は別に掲示する)
- ② 1位及び関東大会出場(6人)を決定するためのバーの上げ・下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	以降
男子走高跳	1m75～	1m80	1m85	1m90	1m94	1m98	2m01	2m04	2m07	2cm
男子混成	1m40～	1m45	1m48	1m51	1m54	1m57	1m60	1m63	1m66	3cm
女子走高跳	1m45～	1m50	1m54	1m58	1m62	1m65	1m68	1m70	1m72	2cm
女子混成	1m15～	1m20	1m23	1m26	1m29	1m32	1m35	1m38	1m41	3cm
男子棒高跳	3m50～	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	10cm
女子棒高跳	2m30～	2m40	2m60	2m80	2m90	3m00	3m10	3m20	3m30	10cm

- ③ 投てき種目の計測ラインは以下の通りである。(荒天の場合は別に掲示する)

	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	10m70	28m50	***	40m00
女子	8m00	26m00	***	27m00

- ④ 男子走幅跳・女子走幅跳・男子三段跳・女子三段跳はAピット(トラック側)、Bピット(スタンド側)で行い、トップ8も各ピットで行う。  
 ※ 男三段跳は12mピット、女三段跳は9mピットを使用する。
- ⑤ 試技時間は2017年度の競技規則通りとする。
- ⑥ 男子5000m、女子3000m、男子5000mW、女子5000mWのスタートは2グループに分けておこなう。
- ⑦ 競技運営上、男子5000mは18分、女子3000mは13分、男子5000mWは30分、女子5000mWは35分で最終周に入らなければ競技を中止する。但し、入賞者が確定していない場合はこの限りではない。

11. 用具について

投てき用具は、検査を受け承認された物に限り使用できる。ただし承認された投てき用具は、競技場の用具と同じ扱いとする。(投てき用具は検査時間内に公式計測員の検査を受ける。検査時間については競技日程下段を参照のこと。)  
 なお、検査を受ける用具は日本陸連の検定品であること。

12. 入賞及び得点について

- ① 入賞は8位までとする。
- ② 得点は各種目1位8点、2位7点、……、8位1点とする。
- ③ 合計得点により、男女別学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。)

13. 表彰について

- ① 各種目8位まで賞状を授与する。
- ② 各種目3位までに入賞した者は、競技終了後直ちに表彰を行うので、本部前に集合待機すること。なお、4位以降は⑦番ゲート付近の庶務係(等々力)、表彰係(三ツ沢)まで賞状を取りに来ること。
- ③ 学校別表彰は、男女とも8位まで閉会式において表彰する。

14. 抗議・上訴について

競技規則146条にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長への抗議を口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が上訴申立書と預託金10,000円を総務に提出する。

(抗議は正式アナウンス後、上訴は審判長の裁定確認後30分以内。同一日に次のラウンドが行われる種目は15分以内とする。)

15. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに招集所競技者係に申し出ること。

16. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。

また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない(競技規則第144条)ので、あらかじめ学校関係者に預けておくこと。

## 17. その他

- ① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ② プログラムに誤記がある場合には、速やかに本部に申し出ること。
- ③ 参加各校の補助員(1名以上)は、競技開始1時間前に本部に集合のこと。
- ④ **等々力、三ツ沢とも競技場外にはシート・テントを張ることは全面禁止。**また競技場内であっても指定区域以外(緊急時の避難経路など)にシート・テントを張ることは禁止する。各校の横断幕、のぼり等も各競技場の指定された場所以外には張らないこと。応援席にテーピング・ガムテープを貼らないこと。(等々力はテント、のぼり旗は禁止)
- ⑤ 応援は、スタンド席で行う。役員・選手以外のトラック・フィールドへ立ち入りを禁ずる。  
集団の応援はメインスタンド付近では行わない。**※最前列での立っての応援は禁止します。**
- ⑥ 大会中は競技マナーを守り、**貴重品の管理にも留意すること。(※各競技場で盗難が頻発しています。)**
- ⑦ 本大会決勝で各種目6位まで入賞した者(走高跳、棒高跳は6位までの入賞者6名)は、6月14日～17日に茨城県笠松運動公園陸上競技場で開催される関東高校対校陸上競技選手権大会兼全国高校対校陸上競技選手権(全国高校総体)南関東地区予選会に神奈川県代表選手として出場できる。  
但し、競歩、混成競技、女子三段跳、女子ハンマー投については4位まで、女子棒高跳は4位までの入賞者4名とする。  
該当選手は競技終了後直ちに本部庶務にて手続きをして書類を受領すること。
- ⑧ 南関東大会申込及び代表者会議は、5月22日(水)14:30～中央大学附属横浜高校で行う。(申込は代表者会議を兼ねるため必ず顧問が出席のこと。また、申込に顧問が欠席の場合には、南関東大会への出場権を辞退したものと扱う。)
- ⑨ 本大会決勝でトラック種目(リレー種目を除く)・フィールド種目で上位8位までに入賞した1,2年生は、その種目に限り令和元年度(第61回)神奈川県高等学校新人陸上競技大会への地区予選通過の権利を得たものとする。ただし、地区予選の申し込みはするものとし、1種目1校3名以内、同一人2種目以内(リレーを除く)の出場制限は従来通りとする。新人地区予選に本大会入賞種目を申し込まなかった場合、また申し込んで出場した場合は地区予選会通過の権利は失効したものとする。
- ⑩ 競技終了後は、速やかに競技場より退場すること。ミーティング等は競技場の外で行うこと。
- ⑪ ゴミは持ち帰りを原則とします。

### 競技場入場についての抽選について

1・2日目の等々力競技場、3・4日目の三ツ沢公園陸上競技場はともに午前7時に参加校顧問による入場順の抽選を行います。

抽選後に各校3名以内で整列し入場を行いますので、競技役員の指示に従ってください。

※ 常識を逸脱した時間に生徒が集合しないように各校で責任を持つての指導をお願いします。

※ 競技場の開門は4日間とも7時30分(予定)とする

### 安全対策について

- ・ 競技会に参加の選手、競技役員、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・ 本競技場、補助競技場では決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
- ・ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・ トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認をおこなう。
- ・ ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いをおこなう。
- ・ 投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・ 投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・ チューブ、マーカー、メディシンボール等の器具を使用しての練習は安全面から行わない。
- ・ 跳躍競技での「後追い助走」は危険防止のため禁止とする。

### 三ツ沢公園レストハウスの使用について

三ツ沢競技場レストハウスは陸上競技場に付随する占有施設ではございません。レストハウス内のトイレ・更衣室は共用スペースですので占有使用は認められておりません。合わせてレストハウスの通路は一般の方々も利用する通路として確保すべき場所でもあります。よって大会開催時にシート・マット等を敷き占有する等の使用法は認められませんのでご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。尚、大会開催時に通路等に占有物が確認されましたら、大会本部として撤去いたします。

### 不正スタートについて

- ・ 不正スタートは、1回で失格とする。混成競技については2回目以降に不正スタートの競技者が失格。(200条8)
- ・ スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)が与えられることがある。
- ・ イエローカード(以後、YCと称す)に関して、当大会では国内ルールを適用し、以下の様に運用する。
  - (ア) 第162条5の規定により(a)(b)(c)いずれかの行為を行った時、YCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
  - (イ) 同一種目で2回のYCを受けた競技者は、当該種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの累積は、該当種目のみに適用する。